

4月の予定		
1	日	
2	月	入園・進級式
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	Enjoy English(うみ・たいよう)
11	水	音楽・運動(幼児) 茶道(たいよう)
12	木	
13	金	YY(幼児)
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	Enjoy English(うみ・たいよう)
18	水	音楽(幼児)
19	木	
20	金	4・5月生誕生会
21	土	
22	日	
23	月	YY(幼児)
24	火	Enjoy English(うみ・たいよう)
25	水	音楽・運動(幼児) 茶道(たいよう)
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

# かのんだよい

平成30年

4月号

## ご入園、ご進級おめでとうございます。

暖かい日射しが気持ちの良い春を迎えました。

さて、今年も立派に成長した卒園児たちを送り出し、新入園児たちを迎えて、新しい年度が始まりました。クラスの保育士やメンバーも変わり、新入園児だけでなく、在園児たちも含めしばらくの間は戸惑ったり、泣いてしまうことも増えるかもしれません。子どもにとって初めての経験。でも、私たちは毎年、その子どもたちが生き生きと保育園で過ごす姿に出会います。後ろ髪をひかれながらお仕事していくことは辛いことです(お仕事だけでなく、闘病や介護でも同じです)。でも、子どもを預けてやっていこうと決めたのですから、子どもの力を信じて、そして私たちを信頼してお出かけください。笑顔で過ごせる日はもうすぐです。絶対乗り越えられますから見守ってあげてください。泣き始めてもできるだけ早く子どもから離れてあげましょう。「行ってくるからね。迎えに来るからね。」という声掛けは忘れずに。遊んでいるからとそっと出かけてしまうと子どもの信頼を失ってしまいます。

今日から職員も新体制になりましたが、今年も子どもたち一人ひとりの育ちにそった援助をさせていただきたいと思っております。かのん保育園が安心して過ごせる場所となるように、より環境を整えて努めていきます。心配なこと、不安なことなどがありませんでしたら、その都度お声掛けください。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

## 退職・異動・新人職員

【入職】：大宮 和美 (おおみや かずみ) 【乳児担任】

秦野 円 (はたの まどか) 【乳児担任】

【異動(転入)】：石田 満穂 (いしだ みつほ) 【乳児担任】 (きらら保育園から)

【退職】：工藤 美咲

岡本 友佳里

渡邊 由梨 (派遣契約終了)

篠原 麻美 (5月末で退職)

【異動(転出)】：小池 裕子 (きらら子どもの家へ)

今まで大変お世話になりました。

## ◆ 土曜保育について

土曜保育のリフレッシュ利用は極力ご遠慮下さい(※土曜日は、平日よりも厳格に保育利用要件を確認します。というのも、土曜保育の保育士は平日に代休をとっています。土曜保育の人数が増えるほど、平日の保育が手薄になります。保育士の負担面だけでなく、子ども達にとっても充実した活動を減らさざるを得ません)。

ただし、園独自の育児支援として、【ひとり親家庭】の場合は、土曜日でもリフレッシュ保育をご利用下さってかまいません。また、【単身赴任家庭】【日頃から育児をサポートしてくれる方がいないご家庭(例えば、両親ともに祖父母が遠方にいて頼れない等)】についても、その都度のご相談の上でお預かりします。その場合でも、園の事情をご理解いただいた上で、そして何よりも子どもの気持ちに十分寄り添い配慮した上で、ご利用ください。※その週の利用人数によっては、お断りさせていただくこともご承知おき下さい。

## ◆ スマホアプリ kidsly について

スマホアプリ kidsly を導入します。普段の保育の様子のほか、ケガや体調不良時等でも写真付きで個別連絡することを予定しています。ここで一つご注意していただきたいことは、お知らせや個別連絡は登録している保護者全員に届く、ということです。ですから、例えば祖父母の方も一緒に登録している場合は、ケガの写真連絡が祖父母の方にも届く仕組みになっています。登録されている方が驚かないように、その旨お伝えくださるようお願いいたします。

## ◆ 職員紹介写真は、4月中頃の配布を予定しています。

※4月の各クラスだよりはお休みさせていただきます。

## 5月の主な予定

10日(木) 母の日クッキング(幼児)

12日(土) 親子遠足

31日(木) 木工教室(たいよう)

その他 避難訓練・身体測定

## 育児のヒント

今回ご紹介させていただくのは、Facebook などの SNS で広まったといわれる作者不詳の詩です。育児は楽しいことばかりではありません。辛いことも多くあります。当たり前です。その時にこの詩を思い出してくれることを願って。

### 「最後のとき（原題:The Last Time）」 作者不詳

赤ちゃんをその腕に抱いた瞬間から あなたはこれまでとは全く違う人生を生きる  
以前の自分に戻りたいと思うかもしれない  
自由と時間があって 心配することなど何もなかった あの頃の自分に  
今まで経験したことがないほどの徒労感 毎日毎日まったく同じ日々  
ミルクを与えて背中をさすってやり おむつを替えては泣かれて  
ぐずられて嫌がられて 昼寝をしすぎてもしなくても心配で  
終わることのない永遠の繰り返しに思えるかもしれない  
だけど忘れないで……  
すべてのことには、「最後のとき」があるということを  
ご飯を食べさせてやるのはこれが最後、というときがやってくる  
長い一日のあと、子どもがあなたの膝で寝てしまう  
だけど眠っている子どもを抱くのはこれが最後  
子どもを抱っこ紐で抱えて出かける だけど抱っこ紐を使うのはこれが最後  
夜はお風呂で髪を洗ってやる だけど明日からはもう一人でできると言われる  
道を渡るときには手を握ってくる だけど手をつなぐのはこれが最後  
夜中こっそり寝室にやってきてベッドにもぐりこんでくる  
だけどそんなふうを起こされるのはこれが最後  
屋下がりになりながら手遊びをする だけどその歌を歌ってやるのはこれが最後  
学校まで送っていけば行ってきますのキスをしてくる  
だけど次の日からは一人でだいじょうぶと言われる  
寝る前に本を読み聞かせて 汚れた顔をふいてやるのもこれが最後  
子どもが両手を広げて あなたの胸に飛び込んでくるのもこれが最後  
だけど「これが最後」ということは、その時のあなたには分からない  
それがもう二度と起こらないのだと気付くころには すでに時は流れてしまっている  
だから今、あなたの人生のこの瞬間にも たくさんの「最後」があることを忘れないで  
もう二度とないのだと 気付いてはじめて  
あと一日でいいから あと一度きりでいいから と切望するような  
大切な「最後のとき」があることを